

無線表示器カゴ車取付デジタル仕分けシステム 導入事例紹介

～ タブレットと無線表示器を使用し、高い自由度と低コストをマルチピッキングシステムが実現！～

業 種	3PL・総合物流業
取 扱 い 商 材	各種冷凍食品・他
出 荷 先 件 数/日	80 ～ 100 件
出 荷 アイテム数	約 150アイテム

システム導入の背景

人手不足による『作業標準化』への対策

チルド(約5℃)倉庫内環境は寒冷環境下での作業であることに加えて、紙リスト等を用いた手作業を行っていることによる『特殊な作業環境』のため、人員の確保が困難になっていた。作業を単純(標準)化することで、作業者の負担を大幅に軽減し、経験が浅い作業員でも作業精度の安定とスピードアップが見込めると考えた。

ビジネス拡大への対策

食品品質維持とチルド帯での作業環境下という観点から、短時間で作業環境を作ることにおける、荷主の満足度アップと、3PL事業者に対して訴求力アップを図りたかった。

ご提案

■ カゴ車への表示器取り付け(金具使用)チルド無線DAS(種蒔きシステム)



【カゴ車取付金具】



チルド倉庫内で固定設備を設置することが環境的にも費用的にも困難な場合、弊社タカハタ電子の無線表示器を用いることで、上記のようなカゴ車にワンタッチで取り付け・取り外しが可能な専用金具を用意しております。

今回は、チルド倉庫内といった寒冷環境に於いても、無線式のフレキシブルな点を活かした

『作業時のみ仕分け設備を持ち込む』という発想で、固定設備のような大規模な改修工事も必要なく、短期間でシステム化の移行が果たされました。

仕分け方式はDAS(種蒔き方式)を採用頂くことで、紙リストの廃止はもちろん、デジタル化による『作業スピードアップ』と『仕分け精度向上』だけでなく、『誰でも即戦力』がポイントとなる作業の標準化を、ご導入後直ちに実体験いただけます。

導入効果

課題	導入後効果
人手不足による『人件費負担増』への対策	作業の特殊性や暗黙知を払拭し、作業の標準化が実現された事でスキルに縛られない幅広い人材募集が可能になった。外国人労働者の雇用も可能で、人件費（時給）の抑制に大きな効果を発揮した。
『労働安全衛生法』の順守	デジタル化により、作業時間が大幅に削減されたことは元より、作業進捗がリアルタイムに把握できることで、作業員の休憩等労務管理が計画的かつ、十分に行えるようになった。
ビジネス拡大への対応	この仕組みを有する事が、品質、生産性両面に於ける荷主への大きな訴求ポイントになっている。

その他活用事例

常温～F1級(-25℃)冷凍環境までをカバーする耐環境性能と、カゴ車やオリコン、クレート等の様々な仕分け資材にマッチする各種表示器固定ブラケットを用いることで、物流現場に於ける様々な仕分け用途に対応します。

■特殊可動ラックを用いた適用例



■中量ラックへの装着適用例



■パレットを用いたケース品仕分け適用例



■オリコンに標準金具(ひっかけ式)を使用した適用例



お問い合わせ先:

開発・製造・販売:  株式会社 東芝電子